



えがお

認定NPO 法人
 たすけあいの会ふれあいネットまつど
 TEL:047-346-0866
 FAX(専用):047-346-0088
 E-mail:fnm2011@r4.dion.ne.jp
 ホームページ:http://fnm2011.okoshi-yasu.com

シニア新入会員フォローアップ研修会開く

シニア12人が介護初任者研修受講、資格を取得

ふれあいネットまつどでは、2016年1月～5月に入会(35人)したシニアボランティアを対象に6月19日(日)、小金北市民センターを会場に、フォローアップ研修会移動サービスコースを開催。安全安心な運行を目的に、講義・演習を実施しました。7月9日(土)には、生活支援・サロン活動コースの開催を予定。



ふれあいネットまつどが、長寿社会文化協会(WAC)の協力を得て、初めて開催した介護初任者研修(旧ヘルパー2級)に、12人のシニアが受講。3カ月の研修を終え、6月23日に修了検定が行われ、全員が合格しました。介護資格を活かして、今後の活躍が期待されます。



3つの班に分かれて介護演習をする受講生



研修会では路上演習を実施。先輩会員(ブラザー会員)がチェックリストにもとづいてアドバイス。全員が感想と気付きを発表しました。



研修会終了後、同会場で、会費1000円の懇親会を開催。先輩・後輩会員、有償ボランティアサービスコーディネーターのみなさん。



50年以上もタイムトリップした3カ月 萩原 直大さん(会理事)

6月23日は 介護職員初任者研修の修了式。この3か月間で、5回の答案提出、研修会終了間際の実技試験に筆記試験と、結構緊張の毎日でした。でも全員が合格。ここで我が級友を紹介します。男女各6名の計12名でした。男性陣は5名が70歳台。これでは介護をする側か受ける側か 講師陣も大いに悩まれたことでしょう。でもそれは杞憂。男女とも実に元気で、真面目、それになんといってもまとまりの良さは抜群でした。このクラスの雰囲気にも、私も50年以上タイムスリップして、高校時代の文化祭を思い出し、思わず舟木一夫の『高校三年生』の歌を口ずさんでいました。

松戸市元気応援サービス シニアボランティアが大活躍

松戸市では3月より、介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスのモデル事業(3団体)がはじまりました。モデルに取り組む3団体とも、担い手は、元気なシニアが中心で、生きがいと社会貢献に取り組む活動が特徴的です。

《元気応援サービス実績》

2016年3月～5月(3カ月)※時間

モデル団体	実績
ふれあいネットまつど	231
松戸市社会福祉協議会	12
松戸市シルバー人材センター	20
合計	263

ようやく3か月の講習が終了しホッとしています。久しぶりのこの新鮮な気持ちです。と持ち続けながら、どれだけ利用者に寄り添い、ニーズに合ったサービスを提供できるか、日々の活動の中で、これからの本場のチャレンジではないかと考えているところです。

昨年(2015年)12月の、喜れも押し詰まったころ、朝日新聞の社会面に「東京都の80歳の女性、介護職員初任者研修にチャレンジ」という記事が載っていました。私はこの記事を読み、ある意味感動を覚えるとともに、ずっと若年の自分も一年に一つは何かチャレンジしてみたいかなと思ひ、友人への年賀状にもそのようなことを書いて送ったものです。介護職員初任者研修が4月からの実施となり、これを受ければ半年で目標が達成できると、少し気楽に申し込んでみたというのが本音のところなのです。

しかし、実際に受講してみると、哲学や心理学さらには医学や看護学の世界にでも迷い込んだような錯覚を起こすほど、介護の奥の深さを感じ、若い人たちがよくこれを勉強し、資格を取ったものだと感じました。その後、演習で気が紛れるまでは、この先どうなるか久しぶりにストレスを感じていたものです。



これからの本場のチャレンジ
 中 良夫(会監事)

6月活動トピックス

◇6/3(金)訪問介護員研修会



◇6/20(月) 会員誕生会



東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト 広域避難者支援・活動報告会2016を開催

来賓挨拶をする福島県 庁千葉事務所小野さん



東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト(古宮保子代表)活動報告2016が、6月11日(土)松戸商工会議所で開催され、避難者・市民・福島県庁・宮城県庁・復興支援員など50名が参加。「支援」ではなく「一緒に遊ぶ、一緒に生きる関係」が必要と、埼玉県で支援活動をしている永田信雄氏(埼玉県労働者福祉協議会専務理事)の基調講演がありました。

◇6/27(月)ふれあいの居場所 みんなち あじさいを楽しむ会



◇6/25(土)26(日)福祉 福有償運送運転者講習会



東日本大震災・福島原発事故から6年目の被災地福島県浜通り・宮城県東松島市を巡る 7/16(土)学びと交流・日帰り弾丸バスツアー参加者(定員まであと10人)募集中!

- 本年は、ふれあい夏祭りを中止します。かわりに11月に秋祭り(さんま祭り)を開催します。日程・実行委員募集等詳細は、9/1号でお知らせします。

■ ふれあいの居場所みんなち夏休み ... 8月13日(土)~8月21日(日)

- 7月・8月の会員定例会はお休みします
- 事務局スタッフの異動 ...

・ケアマネージャーが6人体制になります

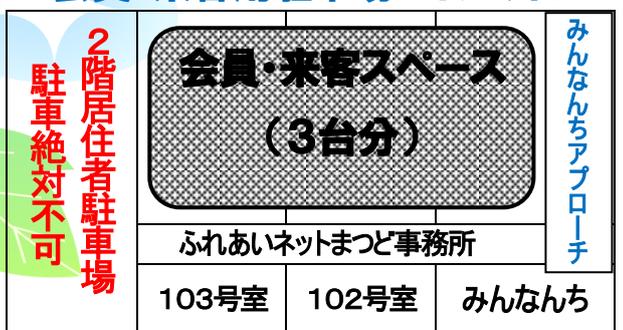
1	成島 良太	居宅介護支援事業所管理者
2	佐久間 浩子	主任ケアマネ・たすけあいセンター長
3	関 陽子	
4	小野 牧子	7月1日 新任
5	渡邊 由美	7月1日 新任
6	奥田 義人	事務局長兼任

・青木里美さんが7月末付で退職します
これまでのご尽力に感謝し、今後のご活躍を期待します。

事務所前に会員・来客用駐車スペースを作りました

これまで、ふれあいネットまつど事務所にお越しいただいても、駐車スペースがなく、みなさまにはご迷惑をおかけしていましたが、7月1日より、下図のように事務所前に会員・来客用に3台分の駐車スペースを作りました。これにともない、保有車両(福祉車両)の駐車場所も変更になります。ご理解と御協力をお願いします。

《会員・来客用駐車場レイアウト》



お知らせ

熱中症予防～みんなで声かけプロジェクト2016

梅雨に入り、連日暑い日が続いています。新聞テレビでも、今年は早い時期からの熱中症対策が必要だと報道しています。「たかが熱中症・・・」と侮らないで適切な対策をとることが大切です。ふれあいネットまつどでは、会員みんなが熱中症にかからないために、熱中症予防声かけプロジェクト2016に取り組みます。みんなで声かけあっていきましょう。

なぜ高齢者は熱中症になりやすいの？

- (1) 体内の水分不足。加齢で脱水状態になりやすくなっていて、老廃物を出すためにたくさんの尿を必要とするため。
- (2) 暑さを感じにくくなっている
- (3) 暑さへの調整機能が低下
- (4) 頑固・無理をしてしまう。

あれ？ 熱中症かな？ - 熱中症の症状

(軽症) 立ちくらみ・大量の汗をかく(中等度) 頭痛・吐き気・嘔吐 (重症) まっすぐ歩けない・けいれん・からだか熱い・呼びかけに返事がおかしい ⇒ 命の危険 ⇒ ためらわずに救急車を呼ぶ

1. こまめに水分をとっていますか。

喉が渇かなくても、こまめに水分をとりましょう(1日 1.5ℓ、ポカリスエットなどの吸収のよいスポーツドリンクを用意する)

2. 部屋の温度に気を配っていますか。

エアコンを使うのをためらわないようにしましょう。28 度位の高めの設定温度でもエアコンを使い室温を下げましょう。

3. 無理せず、休息をとっていますか。

4. しっかりと栄養をとっていますか。